科目名	理解と表現	担当教員	大池 京子 和田 義哉 伊藤 俊一 ※印は実務経験のある教員を示す。

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	教養科目	必修	1年次	前期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13A	①					

科目概要	教育と研究を遂行するには、適切なコミュニケーション能力を必要とする。単なる情報や知識のやりとりを超えた対話状況では、他者の話を聴き取る力や、共感的な対人関係の維持および関係構築能力が不可欠である。本講義では、広い意味でのコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
学習目標	① 英語圏における異文化コミュニケーションに関連した学びを体験する。 ② 医療・社会的コミュニケーション能力の向上を目指す。 ③ 教育的コミュニケーション能力の向上を目指す。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	イントロダクション 他者の視点で世界を見てみる－1	・講義の見通し ・写真・記事・メッセージと dictation を通して他者の置かれた立場や思いを想像・共感する	・講義の見通しをつかむ ・同時代を生きる他者の立場や思いを想像・共感し、自分と世界の人々との繋がりを捉える	大池
2	他者の視点で世界を見てみる－2	・写真・記事・メッセージと dictation を通して他者の置かれた立場や思いを想像・共感する ・ペアワークを通して、お互いを知り、基礎的な文法項目を練習・整理する	・自分と世界の人々との繋がりを捉える ・ペアでのやり取りを通して、英文の組み立て方や文法項目を練習・整理する	大池
3	多様性の理解.1	医療・介護でのセラピスト業務、介護・看護経営業務など、他職種も含めた多様性を整理する	社会人、職業人としてのアイデンティティを理解する（Guest speaker、GS：鈴木 満 先生）	伊藤
4	多様性の理解.2	社会人として communication の重要性を整理する	コミュニケーションに対する姿勢や注意点を理解する（GS 黒川 美知恵 先生）	伊藤
5	Glocal な出来事	・Dictation と Guided interview を基に、「忘れられない出来事」作文を書く	・サンプルエッセイの構成を捉える ・自己と他者の視点を含んだ essay「忘れられない出来事」の 1st draft を書く	大池
6	多様性の理解.3	対人関係を円滑にする、より良い姿勢を整理する	対人関係に於ける「姿勢」の重要性やそのポイントを理解する（GS：岡田莉奈 先生）	伊藤
7	多様性の理解.4	目標設定、キャリアデザイン、ライフプランをを考える	キャリアデザイン、ライフプランの構築に関して理解する（GS：平山奏那子 先生）	伊藤
8	Glocal な視点、今と未来を繋ぐ行動－1	Self-editing, Peer-editing 等を通し、より自然で簡潔に message を伝える仕方を学び、essay に活かす	・Self-editing, Peer-editing を通して、より自然で分かり易い表現を工夫できる	大池
9	自分を理解する	自分を知ることの大切さ チェックリストによる自己理解	自分がどういう人間かを振り返るだけでなく、今まで気づかない自分を理解できる	和田
10	多様性の理解.5	社会人として他者や組織との関わり方を整理する.①	経営面からの視点から組織に対して要求されることを理解する（GS：小松弘宣 先生）	伊藤
11	多様性の理解.6	社会人として他者や組織との関わり方を整理する.②	人事、経営者からの視点から社会人に要求されることを理解する（GS：小松弘宣 先生）	伊藤
12	Glocal な視点、今と未来を繋ぐ行動－2	・Chunk reading, Dictation ・発表タイム ・講義のまとめと振り返り	・より自然で簡潔に message を伝える方法を活かして 2nd draft を完成する ・Glocal な視点を今後に活かそうとする	大池

13	文章で表現する	文章表現方法の見直し	日本語の使い方で、見落としがちな間違った表現方法を学習し利用できる。	和田
14	手紙文の書き方	手紙文の約束事　敬語の基本知識	手紙を書く時の基本的なルールを理解し、相手に失礼のない手紙とは何か理解できる。	和田
15	自分を表現する	プレゼンテーションの仕方	相手にわかりやすく魅力のあるプレゼンテーションとは何かを獲得する。	和田

評価方法	各講義担当者により、レポート試験または筆記試験等が実施される。評価は大池（35 点）、伊藤（35 点）、和田（30 点）満点とし、その合計を総合評価とする。
課題に対するフィードバック	授業をとおしてフィードバックする。
教科図書	教科書は使用しない。適宜、講義資料を配布する。
参考図書	講義時に随時紹介する。
学習の準備	事前に配布された資料がある場合は、それを予習し、関連情報にもあたっておく。（90 分） 授業後は配布資料や実践した内容、授業内で出された課題について学習する。（90 分）
オフィスアワー	木曜日　12:30~14:00
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験	